なんでもインフォ 2011.10

発 行　株式会社 昭和土木設計
岩手県矢巾町流通センター南４丁目１−23　Tel 019-638-6834　Fax 019-638-6389

～ 河川砂防技術基準維持管理編（河川編）のご紹介 ～

はじめに

国土交通省では、H19.４に策定した「河川維持管理指針(案)」に基づき、河川砂防技術基準維持管理編(河川編)を公開しました。維持管理編では技術の進展や標準化を速やかに反映できるように、印刷物(出版物)とはせずに電子版（pdf データ）として公開し、国土交通省ホームページを通して配信しています。

今回の、なんでもインフォでは『河川砂防技術基準維持管理編（河川編)』(以下は当基準）について触れてみたいと思います。

背景にあるのは･･･

当基準がつくられた背景には、近年の集中豪雨や巨大台風による出水･浸水被害が相次いでおり、堤防の決壊や河川の氾濫といった水害を防止･軽減していくためには適切な河川管理が必要であるという考えにあります。

維持管理の目的は･･･

本文第１章総説を参照すると、目的として

１、治水の安全
２、河川環境の保全
３、生活空間としての利用要請の高まり
４、河川施設の維持更新

があげられています。

河川維持管理に関する計画

本文第２章では、計画対象期間概ね５年間を基本に、河川維持管理に関する計画を立てましょうということが書かれています。『･･･中小河川においても、大河川に準じて河川維持管理計画を作成し、計画的に維持管理をしていくことが望ましい。』

維持管理目標

本文第３章では、維持管理目標の設定について書かれています。

治水･利水･環境の目的を達成するために、

・目標流量に対する流下断面
・堤防･護岸･樋門等の施設
・河川環境の整備と保全

について、できるだけ定量的な目標を設定することが望ましいとされています。

河川の状態把握

本文第４章では、目標に応じた河川の状態を把握しょうということが書かれています。

・基本データの収集
　→水文･水利観測の実施、データの収集
　→平面縦断横断の実施、データ収集
・堤防点検等のための環境整備（除草）の実施
・河川巡視、点検、分析、評価

河道の維持管理対策

本文第５章では、目標とする流下能力を確保するため、縦横断測量･点検の結果を踏まえ適切な対策をとりましょうということが書かれています。

・河岸の変状を早期発見し対策を講ずること
・河道内樹木の適切な伐開の実施
・河口閉塞に対する土砂除去の実施

施設の維持管理対策

本文第６章では、堤防･護岸をはじめとする河川施設の点検補修等について書かれています。

河川区域等の維持管理対策

本文第７章では、河川用地の明確化･適切な河川敷地占用審査、また、河川敷地への不法投棄巡視などについて書かれています。

河川環境の維持管理対策

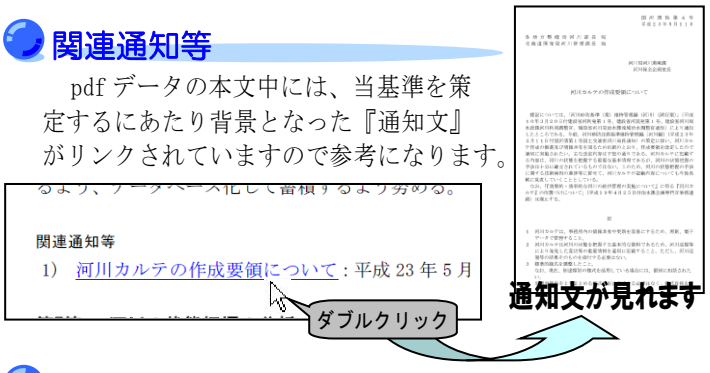
本文第８章では、良好な河川環境の保全について書かれています。『･･･中小河川においても、河川の規模や自然環境の状況等に応じて必要とされる自然環境に関する情報収集を行なうよう努める。』とされています。

水防活動

本文第９章では、出水時の水防活動との連携に努めること、また、洪水予報･水位情報の提供について書かれています。

関連通知等

pdf データの本文中には、当基準を策定するにあたり背景となった『通知文』がリンクされていますので参考になります。



おわりに

本文中の末尾の字句『･･･なければならない。』『･･･望ましい。』などの表現に対する『適用の位置づけ』が記載されており、丁寧でわかりやすい文献だと感じました。

参考文献
■国土交通省 河川砂防技術基準維持管理編（河川編）
■河川(2011 年 8 月号)

株式会社 昭和土木設計の紹介
弊社は，道路・河川・橋梁等の計画・設計，GIS，IT ソリューション等の業務を行っております．
”なんでもインフォ“のバックナンバーについては http://www.showacd.co.jp をご覧ください．

配布者

作成者：コンサルタント事業部
金濱　基人